

営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員 永興ながおき 啓はじめ

秋の草花や枝物花きの販売所への出荷

経営上の特性

秋は各地で多くの行事が開催され、自宅にも秋らしい花材を飾りたくなる時期です。そのため、秋の趣きを感じられるような花きを直売所へ出荷すると有利に販売ができます。秋らしい草花や枝物花きは身近に多くありますから、それらを探し出して直売所で販売する楽しみもあります。

今回は、おすすめの花きと販売する際の注意点を紹介します。

花や実を観賞するものの例

- ①オミナエシ 彼岸の墓向けが主で、小花がポロポロ落ちやすいので、アレンジには向きません。
- ②ワレモコウ 水切りするとともに、鮮度保持の説明文を付けるのが良いでしょう。
- ③ナデシコ 花もちは良いので、特別な処理は必要ありません。
- ④ケイトウ 彼岸の墓向けや、品種によってはアレンジによく使われます。
- ⑤フジバカマ 余分な下葉は取り、水切りをします。
- ⑥ウメモドキ 葉は摘み取って実

だけの姿にします。

⑦ツルウメモドキ リースによく使われます。

⑧サンキライ リースによく使われる実付きのサルトリイバラです。

⑨ノバラ リースやアレンジに使われるノバラの実です。



ナデシコ

ノバラの実

葉や茎を観賞するものの例

- ①ヒサカキ 主に彼岸の墓向けです。
- ②ススキ 「中秋の名月」を狙っての出荷もおすすめます。
- ③ガマ 穂が付いたものを使います。
- ④ユキヤナギ 紅葉した葉付きの枝を使います。
- ⑤セツカヤナギ 葉はとり除き、茎を見せるようにします。



ススキ

ガマ

問い合わせ

農業振興課 農業振興係

☎ 0824・73・1131

庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の新魅力を発見すること、人を、まちを、もっと好きになりますように。



比和町で地域の人との生活を楽しんでいる 豊浦 明美さん

ハワイで暮らすことになってから16年たった頃、住職の両親が高齢になったので、比和のお寺を継ぐために帰国することが決まりました。子どもたちは学校があるのでハワイに残り、私たち夫婦だけで帰国しました。

比和町の暮らし

ハワイから比和町に移住して40年の豊浦さんに、比和での暮らしの楽しみなどを聞きました。

京都からハワイへ

京都府宇治市で生まれ育った私は、京都市のお寺に勤務していた比和町出身の住職（夫）と60年前に結婚しました。当時、比和には年2回帰省する程度で、あまり馴染みがある地域ではありませんでした。

息子が3歳、娘が1歳になった頃、住職が開教師としてハワイのお寺へ赴任することが決まり、船で10日間かけてハワイへ渡りました。

ハワイは、広島県から移民した人が多いので、地域のコミュニティにすんなり馴染むことができ、とても暮らしやすかったです。当時は移民した第1世代の人たちが存命で、住職のお説教をよく聞きに来てくれました。

問い合わせ

自治定住課 定住推進係

☎ 0824・73・1257